展示室7　群馬の日本画家Ⅱ

2023年10月24日(火)～12月19日(火)

山種記念館の秋期の展示は、群馬県出身の日本画家の作品を二期にわたってご紹介しています。群馬県はこれまで多くの日本画家を輩出してきました。本展はそうした群馬ゆかりの日本画家による、昭和期から平成期に制作された作品を展示しています。

太田出身の岡田晴峰は、伝統的な南画を基礎に大和絵などの装飾的な表現や明快な造形性を取り入れ、自由な表現を試みました。《源平一ノ谷合戦図》は馬と人が入り乱れる場面をまるで映画のワンシーンのように劇的に捉えています。伊勢崎に生まれた礒部草丘は風景画を得意とし、特に画業後期は形態を色面で捉えた濃彩の表現が特徴です。前橋市出身の髙橋常雄は、仏教文化の深淵をネパールやヒマラヤにたずね《聖地追想》など同地に取材した作品が評価されました。近代に活躍した作家たちによる多彩な表現をおたのしみください。

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質・形状	寸法（縦×横㎝）	備考
1	岡田晴峰	源平一ノ谷合戦図	昭和24（1949）年	紙本着色・ 幀装（六曲一双屏風）	各168.0×352.2	岡田玲子氏寄贈
2	田中青坪	春苑	昭和23（1948）年	紙本金地着色・ 幀装（二曲一隻屏風）	163.7×165.8	
3	髙橋光輝	麦実る丘	昭和24（1949）年	紙本着色・額装	184.0×152.0	作者寄贈
4	礒部草丘	山峡	昭和27（1952）年	絹本着色・額装	69.0×73.0	礒部静江氏寄贈
5	礒部草丘	空山瀑声	昭和37（1962）年	紙本着色・額装	79.0×67.0	礒部静江氏寄贈
6	礒部草丘	谷川岳	昭和41（1966）年	紙本着色・ 幀装(六曲一双屏風)	各155.0×362.0	礒部善作氏寄贈
7	髙橋常雄	化現	昭和47（1972）年	紙本着色・額装	150.0×75.0	髙橋富枝氏寄贈
8	髙橋常雄	宇	昭和48（1973）年	紙本着色・額装	145.7×70.5	作者寄贈
9	髙橋常雄	聖地追想	昭和55（1980）年	紙本着色・額装	217.0×162.0	髙橋富枝氏寄贈
10	塩原友子	わがこころ	平成６（1994）年	墨、彩色、紙・パネル	194.0×162.1	作者寄贈
11	町田久美	話術	平成17（2005）年	青墨、顔料、岩絵具、 雲肌麻紙・額装	72.7×90.9	寄託作品
12	町田久美	Sky	平成20（2008）年	青墨、茶墨、岩絵具、 顔料、色鉛筆、雲肌麻紙 ・額装	80.5×130.3	寄託作品

＊作品保護のため、会場内の温度、湿度、および照度を調整して展示しています。
また、都合により展示作品を変更する場合もございます。ご了承ください。

群馬県立近代美術館